

今年度の主な事業を紹介します。

事業名(予算額)	事業内容
つくみ福祉まると支援事業(24,502千円)	つくみTプロジェクトの施策で、困り事を「まると」受け止め、気軽に相談できる「断らない窓口化」の相談支援体制を整備
中学校建設事業(795,494千円)	中学校統合に伴う校舎の増築・改修等
共同調理場整備事業(106,453千円)	学校給食を1カ所拠点方式へ移行し、食物アレルギーに対応するための増築、食の安全・安心の確保を図ります。
市役所新庁舎等建設事業(2,219,501千円)	新庁舎等の建設工事費等
市道岩屋線道路改良事業(342,000千円)	新港橋を含む市道岩屋線の一部の拡幅等の整備事業、安心安全な通学路整備と三差路へのラウンドアバウト導入
ごみ中継施設整備事業(380,934千円)	将来に向け、効率的で持続可能なごみ運搬体制の構築を図るための施設整備

定住対策3本の柱「住む」「働く」「産んで育てる」まち津久見

「住む」～安価な住宅地などの居住環境の整備～

定住促進や子育て支援のため、安価な住宅地の提供や新築住宅取得の支援、新婚子育て世帯の家賃補助、移住者への支援を行います。

- ・新築奨励・市内消費喚起事業(10,000千円)
- ・移住応援給付金(3,500千円)
- ・空き家バンク制度等の活用(2,500千円)
- ・結婚新生活支援事業補助金(900千円)
- ・新婚世帯・子育て世帯家賃等補助金(2,000千円)

など

「働く」～安定した就労環境と支援施策の充実～

津久見に住み、働くための支援や雇用の場の確保など安定した就労環境の整備を支援します。

- ・介護従事者等就職奨励事業(400千円)
- ・保育補助者雇上強化事業(1,246千円)
- ・保育士等就労支援事業(200千円)
- ・みかん産地活性化事業(750千円)
- ・創業支援事業補助金(5,000千円)
- ・担い手育成総合支援事業、農業経営開始資金事業(4,149千円)
- ・企業立地促進事業助成金(8,233千円)
- ・つくみ産業博(1,120千円)

など

「産んで育てる」～切れ目ない子育て支援～

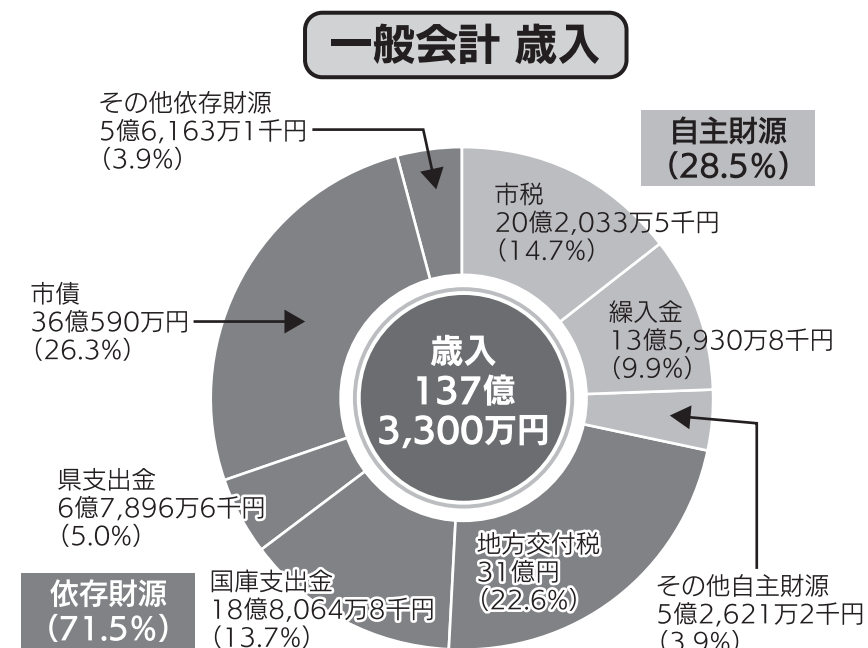
切れ目ない子育て支援施策の展開により、子育ての経済的・精神的な負担を軽減します。

- ・保育料支援事業(11,017千円)
- ・図書館のWi-Fi環境の整備(1,348千円)
- ・放課後児童クラブ利用料負担軽減事業(6,600千円)
- ・物価高騰に伴う学校給食費支援事業(4,256千円)
- ・出産・子育て応援交付金(8,250千円)
- ・妊娠子育て応援給付事業(1,400千円)
- ・デジタルドリル・デジタル教科書導入等事業(5,092千円)
- ・市独自の子どもの予防接種助成(3,887千円)

など

令和5年度 当初予算の概要

“誇りと自信に満ちたまち「津久見」”を目指して



令和5年度は、まちづくりの利便性を考慮し、津波避難ビル・防災拠点機能を兼ね備え、子育て支援活動拠点や市民交流拠点を複合的に整備する、市役所新庁舎等建設事業をはじめとした中心市街地活性化や、防災・減災等、暮らしの安全・安心の確保などの取組を進めます。また、新たに「住む+働く+産んで育てる」の3つを柱に、定住対策を一体的に推進するとともに、適正な事業規模や財源確保に留意しつつ、第5次津久見市総合計画に掲げた津久見市の将来像「誇りと自信に満ちたまち「津久見」」の実現を目指します。

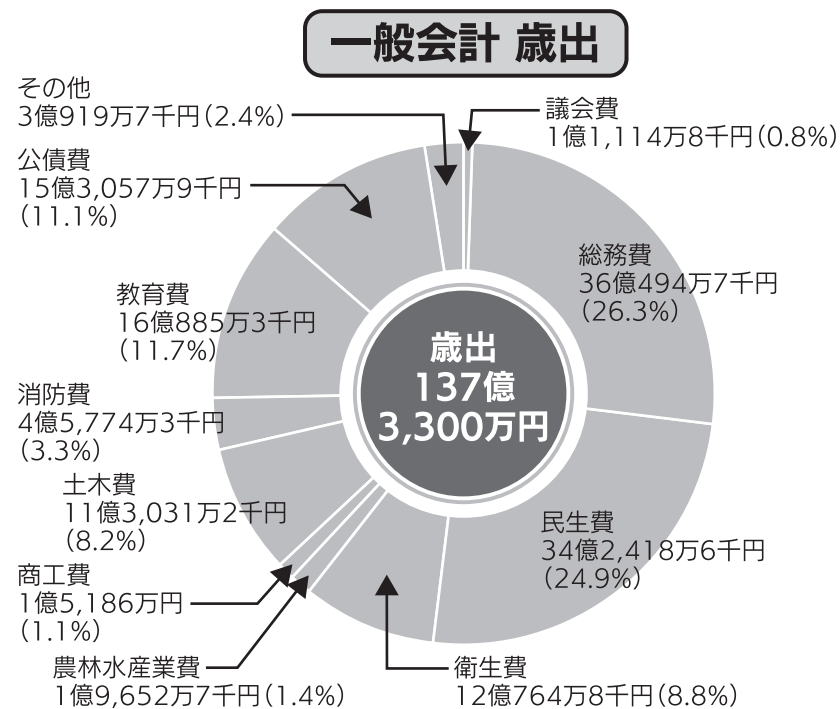
《一般会計歳入 市税の内訳》

市民税	7億4,543万1千円
固定資産税	10億1,549万3千円
軽自動車税	5,826万2千円
市たばこ税	1億 332万7千円
鉦産税	3,922万3千円
都市計画税	5,859万9千円

《市民1人当たりの市税額》 128,659円

市民税	47,470円
固定資産税	64,669円
軽自動車税	3,710円
市たばこ税	6,580円
鉦産税	2,498円
都市計画税	3,732円

※金額は、令和5年3月31日現在の人口15,703人で計算しています。



特別会計 予算額

国民健康保険事業	22億2,537万4千円	後期高齢者医療	3億5,627万5千円
土地区画整理事業	2,124万6千円	介護保険事業	28億4,393万4千円
奨学資金事業	1,523万9千円	保戸島航路事業	1億8,608万5千円
簡易水道布設事業	7,639万5千円	合計	57億2,454万8千円